

(様式第4号)

上田市消防委員会 会議概要

1 審議会名	第二回消防委員会
2 日時	令和6年3月15日 午後1時30分から午後3時45分まで
3 会場	上田地域広域連合消防本部 3階大会議室
4 出席者	宮島武宏会長、堀内健一郎副会長、富岡徹委員、久保田美知子委員、北澤民子委員、室賀直実委員、馬場小夜子委員、山崎恵子委員、荻原敬一委員、小林芳夫委員、近藤忠夫委員、宮島淳委員、樋沢浩彦委員
5 市側出席者	堀池正博消防部長、西澤和浩消防総務課長、山田和広危機管理防災課長、吉田広行消防総務課長補佐、高畑香之消防総務担当係長、内川英貴危機管理防災担当係長、福澤賢治上田市消防団長、宮原克彦上田市消防団副団長、山岸誠上田市消防団副団長
6 公開・非公開	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	令和6年3月22日

協 議 事 項 等

- 1 開 会 (消防総務担当係長)
- 2 あいさつ (消防部長)
- 3 あいさつ (議長)
- 4 第1回消防委員会の議事について (資料番号1)
  - ・ 消防総務担当係長から第1回消防委員会の会議概要を報告
- 5 議事
  - (1) 協議事項
    - ア 消防団員の確保策について (資料番号2)
      - ・ 資料に沿い、消防団から今年度実施した消防団員の確保策について概要を説明
      - ・ 消防団から消防団員の確保策の詳細を説明
      - ・ 団員確保策として参加した動画を再生し、出席者視聴
    - (議 長) 機能別団員の制度について、現状はどうか。
    - (消防団) 実績として今年度武石地域自治センターの職員を対象とした機能別団員を導入した。今後人口減少が著しく、消防団員の適齢層の人数が少ない4つの分団をモデル地区として導入を検討している。
    - (議 長) その4つの分団は参加いただけるということか。
    - (消防団) それぞれの分団で消防団OBが2人から3人参加を予定している。
    - (委 員) 武石地域自治センターの機能別団員の訓練はどうしているか。また、退団の仕組みをこれまでより延長して退団者と入団者のバランスを取ることにについてはどう考えるか。
    - (事務局) 9月に実施した防災訓練で消防職員と一緒にホースを延ばし放水活動をするまでの訓練を行い、地域住民に安心を与えられたのではないか。
    - (消防団) 令和4年度の分団長20名が本来は退団予定であったが半数が階級を下げ引き続き消防団活動をしている。団員の平均年齢は1年で0.5歳上がっている。
    - (議 長) 地域の人口に対して団員が少ない分団の現状と対策は。
    - (消防団) 団員勧誘を行っているが、新興住宅地が多いことから地域のつながりがなくきっかけもないのではないかと考えられる。今年度から防災まつりといったイベントを開催し、地域の意識を変え関心を持ってもらいたい。
    - (議 長) 企業では事業継続計画というものが重要な課題でもあるが、そうした知識を持ったものが

消防団に日常に入ることには大きいと考える。

(委員) 住民は防災の意識が低く、火事があれば消防署や消防団に頼っているように感じる。これから学校区で防災に関わる防災イベントなどで防災意識を高めたいと考えている。

(委員) 住んでいる地域で災害があったことで防災意識が高まった。地域差や災害の歴史があると思うが実際に動くことで意識が向いて考えるようになるのではないかな。

(委員) 私の地域は地域の組織内に消防団が入っており、夏祭りで消防車両展示や放水訓練などを行っている。自治会役員も消防団経験者でありいざという時には分団長の指揮下で動くよう指示してある。

(委員) 私の地域では消防団適齢層はほぼ 100 パーセント消防団に入っているのではないかな。また女性団員の確保も上手くいっていると思う。

#### イ 消防団員の負担軽減策について

・消防団から今年度実施した消防団の負担軽減策について概要を説明

(消防団) 分団ごとのポンプ操法大会、ラップ吹奏大会の出場数を減らした。また、訓練についても訓練場所を分散させた。しかし、一般団員の負担軽減を考えることで上の役職の団員の負担が増えたという声もある。

(委員) 今年の出初式に出させていただいたが、消防団員の方は凛々しく素敵だと思った。また、様々な活動をしていると聞き、すごいと感じている。一緒に楽しんで活動すれば同じことでも負担と感ぜないのではないかな。

(委員) 昔よりも負担は軽減されているのでしょうか。昔は毎週、毎日、早朝に訓練していたイメージがある。

(委員) 地域にある消火栓器具箱にはホースなど入っているが私は使えません。近所の方も誰もわからないと言っていた。何かのきっかけで消防団の方だけに任せるのではなく、出来ることはやり、できる人もいるという声掛けも必要かなと思う。

#### ウ 団員報酬の増額改正と出動報酬創設に伴う影響について

・消防団から報酬の改正、創設後の影響について現状を説明

(消防団) 団員の出動人員、出動回数は増えている。また出動報酬創設により自営業者である団員は助かっているとの声もある。今後、長野県では消防団活動に協力する企業への減税措置が 10 万円から 100 万円に引き上げられるという。こうした状況も企業に周知して参りたい。

(委員) 以前、高齢の女性団員が何か協力したいと入団したが活動内容が限られており活動できないといったことがあった。防災の知識を広めたり普及活動をするなどに特化した活動をする女性団員もいてもいいのではないかな。

(委員) 地域にある消火栓は私も使えません。初歩的な訓練は地域の皆を巻き込んでやってもらえる機会があれば関心が高まると思う。

(委員) 地域活動と防災訓練を兼ねる活動もいいのかなと思う。

(委員) 消防団は地域に密着することが一番大事かなと思う。消防団活動に家族も参加すれば家族の理解も深まるのではないかな。

(委員) 従来は地域だけで生活し消防団に入るのが当たり前だった。今は地域の中だけでは生活できず、地域活動も面倒だと思う人も増えた。しかし、地域の横のつながりは大事だし地域に住む方しか知らないこともある。負担軽減には逆行するようだがむやみに行事を減らすことのないようにしてほしい。

#### (2) 報告事項

##### ア 消防団災害活動支援アプリ（コミュたす）について（資料番号 3）

- ・資料に沿い、消防総務課長から消防団災害活動支援アプリ（コミュたす）について説明  
質疑等なし

イ 上田市消防団整備品・更新車両について（資料番号4）

- ・資料に沿い、消防総務課長から上田市消防団の整備品、更新車両について説明  
質疑等なし

ウ 令和5年度の出動・活動状況について（資料番号5, 6, 7）

- ・資料に沿い、消防総務課長から令和5年度の出動・活動状況について説明

6 その他

- ・消防総務担当係長から上田市消防音楽隊結成50周年記念演奏会武石公演について案内する。
- ・消防部長から退任のあいさつ
- ・消防総務課長から退任のあいさつ

7 閉会